

令和 8 (2026) 年度 北海道立函館美術館 博物館実習 (館園実習)
実施要項

- 1 名称 令和 8 (2026) 年度博物館実習
- 2 趣旨 大学の要請により、学芸員資格取得を目指す学生に対し、資格認定のために受講が必要とされている「博物館実習」を実施する。
- 3 日時 令和 8 (2026) 年 7 月 28 日(火)–8 月 1 日 (土) 予定
各日 9:00–17:00 (12:00–13:00 は休憩) (計 5 日間/35 時間)
- 4 会場 北海道立函館美術館ほか
- 5 実習内容
 - ・美術館の活動および展覧会企画に関する講義
 - ・当館内施設見学、展覧会鑑賞
 - ・作品の収集保存、教育普及活動等に関する講義と実践
 - ・作品取り扱い実習
 - ・教育普及活動の実施補助
 - ・資料整理実施
 - ・他館見学なお、詳細スケジュールは調整の上、別途作成する。
- 6 評価
実習の参加状況および事後提出レポートによる。
レポート課題：
「実習内容を踏まえ、今日の美術館の課題とその解決の方法について自身の考えを述べよ」(1,200 字程度)
- 7 その他
 - (1) 実習生の入退館は職員通用口を利用し、実習中は名札を着用する。
 - (2) 実習生は、実習期間中、常設展および特別展を見学できるものとする(展示室受付にて名札を提示)。
 - (3) 実習生本人または大学にて、傷害保険に加入する。
 - (4) 実習に関わる費用は徴収しない。

令和 8 (2026) 年度 北海道立函館美術館博物館実習 (館園実習)

応募要領

1 応募資格

- (1) 学芸員資格取得に必要な実習以外の単位を取得済みか、当該年度中に取得見込みである大学 3、4 年生および卒業生またはそれらに相当する者。
- (2) 北海道立函館美術館の活動方針と実際の活動内容に関心をもち、特に当館での実習を希望する者。
- (3) 函館市内または近隣に、実家など通勤の拠点を有する者。

2 実施期間 令和 8 (2026) 年 7 月 28 日(火)–8 月 1 日 (土) 予定

各日 9:00–17:00 (12:00–13:00 は休憩) (計 5 日間/35 時間)

3 実習定員 2 名程度

4 選考方法

レポート選考とする。

- ・課題：「館園実習で学びたい事項とその理由」(800 字程度)
- ・提出方法：大学を通じて提出。

レポートと「北海道立函館美術館 博物館実習 (館園実習) 申込書」を郵送もしくはファイルを添付した電子メール送信のこと。

- ・申込期間：令和 8 (2026) 年 3 月 12 日 (木) ~5 月 28 日 (木) 17:00 当館必着。

5 受入手続

- (1) 提出された書類により選考し、令和 8(2026)年 6 月 19 日 (金) までに、実習受け入れの可否を大学に通知する。
- (2) 受入内定の通知を受けた大学は、当館館長あてに、学長名 (部局長名) による「博物館実習 [館園実習] 受入依頼文書」(各大学の様式で可) を提出すること。
- (3) 大学からの依頼文書受領後、当館館長より所属大学等あてに「博物館実習 [館園実習] 受入承諾書」を郵送する。

6 実習内容

美術館の活動に関する講義と実習／教育普及活動の実習補助／作品取り扱いの実践／資料整理

7 連絡先

北海道立函館美術館 学芸課

〒040-0001 函館市五稜郭町 37 番地 6 号

電話 0138-56-6311 メール hakobi.11@pref.hokkaido.lg.jp

担当：高橋／門間

北海道立函館美術館 博物館実習（館園実習） 申込書

【令和8年度】

令和 年 月 日

フリガナ			[写 真]	
氏 名				
生年月日	年	月		日 生 (満 歳)
現住所	〒			
	電話			
メールアドレス				
実習中の滞在先	〒			
	電話			

現在の所属先 [大学名・学部学科名・専攻名、学年など]			
学芸員資格 関係科目 単位取得状況 [取得済・取得予定のどちらかに○をつけてください]			
生涯学習概論	取得済・取得予定	博物館資料保存論	取得済・取得予定
博物館概論	取得済・取得予定	博物館展示論	取得済・取得予定
博物館経営論	取得済・取得予定	博物館教育論	取得済・取得予定
博物館資料論	取得済・取得予定	博物館情報・メディア論	取得済・取得予定

学 歴 [高等学校卒業から]・職 歴 [美術館・博物館での研修・ボランティアなど、実習時の参考となるもの]	
年 月	

本申込書に、レポート「館園実習で学びたい事項とその理由」（A4判横書、800文字程度、用紙自由）を添えてお申込みください。